

(発表題目) 子どもも教師も楽しく幸せに過ごせる学級経営

長岡市上川西小学校

氏名 安部澄哉 (令和3年度)

(主張)

私の目指す学級は、「仲間に寄り添える」安心感がある学級と「自分の個性を発揮できる」自己有用感が生まれる学級である。また、子どもたちが目指す学級は、学級目標の「ハピネスランド402」であり、たくさんの人を幸せにしたいという思いが込められている。それらを目指して、本学級では、子どもたちが自分たちで話し合い、学級や個人の問題を解決していく「クラス会議」に力を入れてきた。昨年までは、「とりあえずやってみる」だった。しかし、今年度はまず、話し合いが温かい環境の中で行えるように達成感や自己有用感を育む会社活動、お互いの良いところを伝え合う活動、担任からの評価で成長を自覚する価値付け写真などクラス会議の土台作り4月から行った。

クラス会議は、夏休みまでは「クラスの問題」を中心行ってきたが、2学期からは、目指す学級に近づくように「個人の悩み」を取り上げた。個人の悩みの取り上げる大きな価値として、2つ挙げられる。1つ目は、クラス会議を通して、自己決定、自己選択する経験を小学生から積ませることである。2つ目が、自分悩みを話すことで一緒に悩みを乗り越える関係性を構築することである。

クラス会議を通して、クラス会議の価値に気付いたり、他者尊重の大切さに気付いたり成果が見られた。

今後の展望として、授業や会話の中でオープンクエスチョンを取り入れて、話し合いのさらなる充実を図りたい。また、クラスの問題にも目を向けて、高学年を見据えて、クラスとしてレベルアップさせていく。